

ギター界のレジェンド、
デビュー55周年を記念する

渾身のステージ

喜寿 & デビュー55周年記念

莊村清志 ギターリサイタル



©Hiromichi NOZAWA



©Takemura Kuraji

長崎公演

莊村清志～喜寿&デビュー55周年 山口修～古希記念

莊村清志 & 山口修 ジョイントコンサート

2025年 6月28日(土) 14:30開演 14:00開場
長崎市民会館文化ホール

長崎市魚の町5-1 095(825)1400

入場料：一般前売3,000円 当日3,300円 学生(高校生以下)無料

主催・問合せ：音楽小屋095(807)4836 ongaku-goya2002@mxb.cncm.ne.jp

莊村清志～喜寿&デビュー55周年

福岡公演 莊村清志 ソロリサイタル

ゲスト：上野芽実

2025年 6月29日(日) 13:30開演 13:00開場

あいれふホール 福岡市中央区舞鶴2-5-1 福岡市健康づくりサポートセンター10F Tel.092-751-2827

入場料：全席指定 前売3,850円 学生2,200円 当日各550円増

フォレストヒルミュージックアカデミー生徒は各1割引

主催・問合せ：フォレストヒル音楽工房 Tel.092-715-3828 info@foresthill-morioka.com

チケット予約：フォレストヒル音楽工房 インターネット予約 [teket](http://teket.com)(テケト)

後援：福岡市・(公財)福岡市文化芸術振興財団



©遠江

後援 ● 九州ギター音楽協会 企画・マネジメント ● フォレストヒル音楽工房 <https://www.foresthill-morioka.com/> info@foresthill-morioka.com

荘村清志 ギターリサイタル

Program

長崎公演

荘村清志 Solo

作者不詳(キレゾッティ編)：ルネサンスリュートの為の6つの小品

J.S.バッハ：“シャコンヌ”

「無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番」BWV1004より

カタロニア民謡(M.リョベート編)：盗賊の唄、聖母の御子

A.バリオス：郷愁のショーロ

山口 修 Solo

H.アジャラー：“タキラリ”“グアラニア”“ガトとマランボ”「南米組曲」より

荘村清志&山口 修 Duo

F.ソル：アンクラージュマン Op.34

E.モリコーネ(鈴木大介編)：ニュー・シネマ・パラダイス

E.グラナドス(片山広成編)：オリエンタル

M.デ・ファリヤ(E.ブジョール編)：“スペイン舞曲第1番”「はかなき人生」より

福岡公演

荘村清志 Solo

賢王アルフォンソ10世：聖母マリア頌歌集

作者不詳(キレゾッティ編)：ルネサンスリュートの為の6つの小品

F.ソル：マルボローの主題による変奏曲 Op.28

J.S.バッハ：“シャコンヌ”

「無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番」BWV1004より

カタロニア民謡(M.リョベート編)：盗賊の唄、聖母の御子

A.バリオス：郷愁のショーロ

A.ルイス=ピポー：歌と舞曲 第1番

J.イルマル：バーデン・ジャズ組曲

荘村清志&上野芽実 Duo

E.モリコーネ(鈴木大介編)：ニュー・シネマ・パラダイス

M.デ・ファリヤ(E.ブジョール編)：“スペイン舞曲第1番”「はかなき人生」より

※曲目は変更となる場合がございます

長崎市魚の町5-1 Tel.095-825-1400

JR長崎駅より車で4分

路面電車3番系統蜷茶屋行「市役所」電停すぐ

Access



福岡市中央区舞鶴2-5-1

Tel.092-751-2827

地下鉄赤坂駅より徒歩4分



荘村清志 (ギター)

9歳よりギターを始める。1963年に巨匠イエスに認められ、翌年スペインで師事。1969年の日本デビューで、「テクニック、音楽性ともに第一人者」との高い評価を得た。71年には北米で28に及ぶ公演を行い、国際的評価を不動のものにした。74年にはNHK教育テレビ「ギターを弾こう」に、2007年にもNHK教育テレビ「趣味悠々」にそれぞれギター講師として登場し、日本ギター界の第一人者としての存在を強く印象づけた。08年ビルバオ交響楽団の定期演奏会に出演。同団とは《アランフェス協奏曲》を録音、09年にCDをリリースした。15年にはイ・ムジチ合奏団と共演、録音も行った。

2017年からギターの様々な可能性を追求する「荘村清志スペシャル・プロジェクト」(全4回)に取り組み、さだまさし、coba、古澤巖、錦織健らと共演し、ジャンルの垣根を越えたコラボレーションが話題となる。最終回では、cobaに委嘱したギター協奏曲も演奏し、注目を集めた。

2020年、朝日新聞の連載「人生の贈りもの」をまとめた書籍「弾いて飲んで酔いしれてギターとともに50年」(吉田純子編著)を出版。22年にはcoba編曲による世界のポップス名曲選「ゴッドファーザー〜愛のテーマ」をリリース。

現代のギター作品を意欲的に取り上げるだけでなく、日本人作曲家に多数の作品を委嘱、初演するなど、ギターのレパートリー拡大にも大きく貢献している。特に武満徹には74年に「フォリオス」、93年に「エキノクス」を委嘱、77年荘村のために編曲された「ギターのための12の歌」を初演・録音、96年には「森のなかで」を全曲初演している。現在、東京音楽大学特任教授。2024年にデビュー55周年を迎えた。

今回のデビュー55周年記念リサイタルは、2019年にフォレストヒル音楽工房主催で開催したデビュー50周年記念公演以来、6年ぶりとなる待望の福岡公演である。



山口 修 (ギター)

長崎市出身。山下亨、小船幸次郎、A.ディアス、J.トーマスの各氏に師事。第14回九州ギター音楽コンクール優勝。第14回日本ギターコンクール第2位。スペイン給費留学生として、渡欧。フランス・アルル国際音楽祭グランプリ。スペイン・ラミレス国際ギターコンクール及びイタリア・アレクサンドリア国際ギターコンクールで日本人初の第1位。ベネズエラ・アリリオ・ディアス国際ギターコンクール第2位(1位空位)入賞。

17歳で長崎デビューリサイタル。東京文化会館小ホールでリサイタル。九州交響楽団との共演による一晩で3曲のギター協奏曲の夕べ「山口修、青春の協奏曲」はNHKテレビで放送。オランダ・ミデルブルグ、オランダ音楽祭「日本の祭り」で邦人作品ばかりのリサイタル、翌年にはオランダ6都市リサイタルツアー。ミュンヘンバッハ合奏団、イタリア合奏団、ジャパニレディーズオーケストラ、九州交響楽団、ニューヨークシンフォニックアンサンブル等と共演。日本フィルハーモニー交響楽団とは故渡邊暁雄指揮「日本フィルハーモニー交響楽団京都公演」で初共演後、九州から北海道、オランダコンサートヘーボ公演に至る全国約80会場で共演。

CD「シャコンヌ」(フォレストヒルレコーズ)はレコード芸術誌にて特選盤となる。「バッハ無伴奏チェロ組曲全6曲連続演奏会」を長崎と大村で開催。47年間プロデュースをしている長崎記念病院さわやかコンサートは360回を数える。長崎市長功労者表彰、長崎旅博覧会特使、長崎県地域文化章特別賞、長崎県民表彰特別賞を受賞。FM長崎「日曜音楽館」パーソナリティ。九州ギター音楽協会会長。

上野芽実 (ギター)

フォレストヒルミュージックアカデミー(福岡市)にて学んだ後、2008年よりストラズブル国立音楽院(フランス)にてギターをデュオ・メリスのA.ムズラキス氏とS.ブリエト氏に、バロック音楽演奏解釈、リュート演奏、通奏低音などを今村泰典氏に師事。2006年第52回九州ギター音楽コンクール優勝。2011年にストラズブル国立音楽院の音楽研究資格を最優秀の成績で取得した後、2014年同音楽院スペシャルセッション課程を最優秀にて修了。同年帰国。2018年「NCB音楽祭2018」にて与那城敬(バリトン)と共演(ラマンチャの男)。2019年ポロニヤ歌劇場・福岡公演に際して、ギターを担当(セヴィリアの理髪師)。2020年TNCテレビ「ミライへの1minute」他、テレビ、ラジオ等メディアに多数出演。2018年CD「アントレ」をフォレストヒルレコーズよりリリース、レコード芸術誌特選盤に選出される。2023年に第2弾CD「吟遊詩人の調べ」をリリース、レコード芸術誌特選盤に選出される。2023年第17回Hakujuギター・フェスタ(東京)に出演。2024年「OHGA クリスマスコンサート2024」に九州交響楽団と出演(序奏とファンダンゴ)。フォレストヒルミュージックアカデミーギター科講師。九州ギター音楽協会公認講師。福岡市在住。

